

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	上位目標：イラク北部アクレ郡の小学校の教育環境の改善およびイラク北部3県の教育の質の向上 達成度： [小学校改築事業] ・ 本事業対象校3校における教育環境の改善（3校中3校） - 100%達成 [教育関係者能力強化トレーニング事業] ・ 中止 当初の計画では、小学校2校の改築に加え、「教育関係者能力強化トレーニング事業」を実施する予定だったが、2014年6月から激化したイスラム過激派組織「イスラム国」を中心とする武装勢力とイラク治安担当局、ペシュメルガおよび連合軍の武力衝突により、大量の国内避難民が発生する事態となり、ひとまず実施を延期することとした。その後、事態の鎮静化を待ち、同事業を再開する方向で関係者との調整を続けていたが、現地の混乱した社会状況および悪化した治安が大きく改善されることはなく、関係者間での協議の結果、国際専門家の招聘およびクルド自治区内広範囲にわたる本事業の実施は困難であると判断し、一部事業内容を変更した（「教育関係者能力強化トレーニング事業」を中止）。 一部事業中止に伴い、現地教育省から、アクレ郡ギルダセン地区アララシュ村小学校を改築対象校として追加できないか打診を受け、実地調査を行った結果、既に改築を始めていたザンタ校やコンシホール校同様、アララシュ校についても、早急に校舎を改築する必要性が認められたため、同校を改築対象校として追加し、計3校の小学校改築を行うこととなった。
(2) 事業内容	(ア) 小学校改築事業 (a) アクレ郡ビジル地区ザンタ村小学校 6教室校舎（職員室、倉庫、トイレ含む）の建設 (b) アクレ郡ギルダセン地区コンシホール村小学校 6教室校舎（職員室、倉庫、トイレ含む）の建設 (c) アクレ郡ギルダセン地区アララシュ村小学校 4教室校舎（職員室、倉庫、トイレ含む）の建設 (d) 上記3校へ机、椅子、職員用デスク等の整備 計画通りに整備（別紙1参照） (イ) 教育関係者能力強化トレーニング事業 「(1) 上位目標の達成度」に記載の通り、現地の状況に鑑みて中止

（ここでページを区切ってください）

(3) 達成された成果	(ア) 小学校改築事業 (a) アクレ郡ビジル地区ザンタ村小学校： 6 教室校舎の建設により、ザンタ村の教育環境が改善した。さらに、教室数が増加したことで、より多くの生徒に教育の場を提供することができるようになり、新年度より 7 年生～9 年生向けの授業も始める予定である。 ザンタ校のドラー・ミルカーン校長は、校舎改築後の生徒の学習意欲の変化について以下のように語った。「以前は、子供たちは学校に“行かされている”と感じ、日々、欠席者が絶えることはありませんでした。しかし、今では皆、改築された学校に行くことを楽しみにしており、欠席する生徒はほとんどいなくなりました。また、教育環境の向上は、生徒の学習レベルの向上にも直結しています。」このように、本事業による教育環境のハード面の改善は、副次的に、生徒一人一人の学習意欲を引き出す結果となった。 [成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒 38 人、職員 6 人 間接裨益者数：約 260 人（ザンタ村人口） (b) アクレ郡ギルダセン地区コンシホール村小学校： 6 教室校舎の建設により、コンシホール村の教育環境が改善した。ザンタ村と同様、新校舎建築に伴い教室数が増加したことで、より多くの生徒に教育の場を提供することができるようになり、新年度より 7 年生～9 年生向けの授業も始める予定である。 コンシホール校のフセイン校長（コンシホール村の村長も兼任）は、「私たちの学校は、教室の数が足りなかったため、以前は 2 つの学年が 1 教室を共同で使用していました。今は、各学年それぞれ 1 教室を使用できるようになりました。さらに、私たちは、今まで他の村まで通学しなければならなかった 7 年生～9 年生向けの授業も新しく始めたいと考えています（教室数が足りず、今までコンシホール村では授業を行うことができなかった）。これによって、生徒たちはわざわざ他の村まで通学せずとも、コンシホール村で学業を継続することができるのです」と述べ、通学の困難さから学業の継続をあきらめる生徒にとって、将来的に、新校舎が新たな可能性を開くことを示唆した。 [成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒 35 人、職員 5 人 間接裨益者数：約 200 人（コンシホール村人口） (c) アクレ郡ギルダセン地区アララシュ村小学校： 4 教室校舎の建設により、アララシュ村の教育環境が改善した。今まで同村に正式な校舎が建設されたことはなく、生徒たちは民家を利用した仮の校舎で学習していたが、新校舎の完成に伴い、適切な教育環境で学べるようになった。 同校に通う 5 年生のアラン・シャーラムは、PWJ スタッフからの質問に対し、「新しい校舎が本当に大好きです。古い校舎の学習環境は
--------------------	---

	非常に悪く、屋根は雨漏りがして、雨の日にはいつも教科書がびしょ濡れになってしまいました。今は、校舎も新しくなり、私たちはとても幸せに感じています。とてもいい学校なので、家に帰りたくないくらいです」と答え、校舎改築による教育環境の劇的な変化およびそれに伴う生徒たちの気持ちの変化について語った。 [成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒 35 人、職員 4 人 間接裨益者数：約 170 人（アララシュ村人口） 直接裨益者 計：生徒 108 人、職員 15 人、 間接裨益者 計：約 630 人 (イ) 教育関係者能力強化トレーニング事業 「(1) 上位目標の達成度」に記載の通り、現地の状況に鑑みて中止
(4) 持続発展性	(ア) 小学校改築事業 本事業により改築された校舎は、完成後にアクレ郡教育局に引き渡され、同教育局の責任のもと、教育局予算にて維持管理が行われる。また、日常的な維持管理については、校長、教職員、保護者、地域住民から成る地元組織が中心となり行う。なお、弊団体は、校舎をアクレ郡教育局へ引き渡した後、6ヶ月間モニタリングを行う。モニタリング期間内に、校舎に不具合が生じていると判明した場合には、担当業者が責任を持って修繕する。 (イ) 教育関係者能力強化トレーニング事業 「(1) 上位目標の達成度」に記載の通り、現地の状況に鑑みて中止